

2019年3月15日
旭化成ホームズ株式会社

～ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2019～
ヘーベルハウスの総合防災力への取り組みが「最優秀レジリエンス賞」、
分譲地ヘーベルガーデン新富士における街づくりが「優秀賞」を受賞

旭化成ホームズ株式会社（本社：東京都千代田区 社長：川畑文俊）は、2019年3月15日に行われた一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会※1による「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2019※2」で、当社のヘーベルハウス・メゾンの「トータルレジリエンス（総合防災力）」を目指した取り組みが「最優秀レジリエンス賞」、当社の分譲地「ヘーベルガーデン新富士」における街づくりが「優秀賞」を受賞しましたのでお知らせします。

戸建住宅「ヘーベルハウス」賃貸住宅「ヘーベルメゾン」は、ともに業界に先駆け「制震構造」を全棟標準仕様とし、度重なる自然災害に際して、その頑強さを発揮してきました。当社はこれからも、頑強な建物で命を守る住まいの提供に尽力し、住宅メーカーが担うべき「国土強靱化」に、邁進努力してまいります。



※1 一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会とは

国土強靱化担当大臣私的諮問機関「ナショナル・レジリエンス懇談会」の結果を踏まえ、「国土強靱化基本計画」が円滑に達成されるよう、産、学、官、民のオールジャパンでレジリエンス立国を構築していくことを目的として設立された機関。

※2 「ジャパン・レジリエンス・アワード」とは

強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等”を実施している企業・団体を評価・表彰する制度。（2014年11月に創設）「グランプリ」「特別顧問賞」「特別賞」のほか部門別に「金賞」「最優秀レジリエンス賞」、また「優秀賞」などがある。[詳細はこちら](#)。



「第5回 ジャパン・レジリエンス・アワード2019」表彰式の様子

■最優秀レジリエンス賞（企業・産業部門/住宅・都市領域）

「ヘーベルハウス・ヘーベルメゾンのトータルレジリエンス（総合防災力）の取り組み」

災害発生後の生活復旧に必要な要素を、①頑強な建物で命を守る ②自立型エネルギー設備や備蓄で暮らしを守る ③建物の損傷の早期復旧を実現する、という3つのステージで位置づけ、ヘーベルハウス（戸建）・ヘーベルメゾン（賃貸）にお住まいのお客様にトータルにサポートできることを目指しています。強靱な建物の提供に加え、自助への備えを促すことや、賃貸では入居者同士のコミュニティ形成を促し共助へつなげる活動を実施しています。また、保険部門やリフォーム部門と一体となり早期復旧をサポートする体制の構築など、総合的な防災力向上に取り組んでいます。



耐震・耐火性が高く、
シェルターとして機能する構造躯体の提供



太陽光発電や蓄電池など
自立エネルギー設備の普及



災害時の共助を促すコミュニティ賃貸の普及



災害時における復興体制の構築。
保険部門やリフォーム部門と一体となり、一日でも早い生活復旧をサポート
(2018年7月西日本豪雨での復旧活動の様子)



日頃からの啓発活動
(正しい防災知識をテーマ別にまとめたツール)

■優秀賞（企業産業部門/住宅・都市領域）

「ヘーベルガーデン新富士：あしたの杜（江川地区豊かな暮らし空間住宅整備事業）」

人口減少・少子高齢化が進み、沿岸部に位置することで高い防災性が求められた静岡県富士市江川地区で整備した大型分譲地「ヘーベルガーデン新富士『あしたの杜（もり）』」は、旭化成および旭化成ホームズが、災害時の支援や地方創生に関する地域包括協定を富士市と結んで実施する「産官民」の取り組みです。区画内に、防災機能を備えた地域の「集会所」を建築・寄贈したほか、公園には「かまどベンチ」「地下収納トイレ」など防災設備を設置し、非常時には旭化成富士支社の地下水が利用できるようにしました。



全99区画の大型分譲地。
全棟でZEH基準を上回る断熱性能を実現し、
太陽光発電の設置を条件とする街づくり



分譲地内に建設し地域へ寄贈したヘーベルハウス平屋建ての集会所。
太陽光・蓄電池などエネルギーの自立機能を備え、地域の防災拠点として利用。

<本件お問い合わせ> 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
旭化成ホームズ株式会社 広報室
(電話)03-6899-3010 (FAX)03-6899-3400 (メール)j-koho@om.asahi-kasei.co.jp